

2017年度

運輸安全報告書

株式会社静岡トヨペットサービス

本レポートは

お客様からより一層信頼され、地域社会の発展に貢献できることを目指して、私たちが「安全・安心」を第一としたサービスを提供するために取り組んでいることを紹介するものであります。

目次

1. 輸送の安全に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況・・・・・・・・P 3
3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計・・・・・・・・P 4
(総件数および類型別の事故件数)
4. 輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統・・・・・・・・P 4
5. 事故、災害等に関する報告連絡体制・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
6. 安全統括管理者、安全管理規程・・・・・・・・・・・・・・・・P 4

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

当社では、輸送の安全確保に関する基本方針を以下のように定め、全社員による安全を最優先とする体制の維持・向上に努めてまいります。

基本方針

1. 輸送の安全を確保するための事業の運営方針
2. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制
3. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理方法

2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

2017年度に設定しました目標および達成状況は次のとおりであります。

	目 標	達 成 状 況
1	<u>重大事故・有責事故の撲滅</u> ・重大事故： 0件 ・有責事故： 0件	重大事故： 0件 有責事故： 1件
2	<u>車両故障の削減対策</u> ・運行途中の車両故障： 0件	故障発生件数： 1件
3		
4		

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2017年4月1日から2018年3月31日までの期間における事故件数は、次のとおりであります。

事故総件数 0件

(類 型 別 内 訳)

(単位：件)

自転車、オートバイ、タクシーとの接触	0
発車時、急停車による車内転倒	0
ドア挟圧による車内事故	0
乗務員疾病による運行中止	0
自動車の装置の故障	0

4. 輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

(別紙2)『輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統』参照

5. 事故、災害等に関する報告連絡体制

(別紙3)「事故、災害等に関する報告連絡体制」参照

6. 安全統括管理者、安全管理規程

- ① 安全統括管理者：役職名 取締役 氏名 吉田 真之
- ② 安全管理規程：(別紙1)『安全管理規程』参照

(別紙1)『安全管理規程』

(株) 静岡トヨペットサービス 安全管理規程

平成19年7月1日改定

(社名変更)

目次

第一章	総則
第二章	輸送の安全を確保するための事業の運営方針等
第三章	輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制
第四章	輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理方法

第一章 総則

(目的)

第一条 この規程（以下「本規程」という）は、道路運送法（以下「法」という）に基づき、輸送の安全を確保するために遵守すべき事項を定め、もって輸送の安全性の向上を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第二条 本規程は、(株) 静岡トヨペットサービスの一般貨物自動車運送事業に係る業務活動に適用する。

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営方針等

(輸送の安全に関する基本的な方針)

第三条 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる。

2 輸送の安全に関する計画の作成、実行、チェック、改善（P-D-C-A）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

第四条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。

- 一. 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
- 二. 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行なうよう努めること。
- 三. 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。

- 四. 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
- 五. 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、これを適確に実施すること。
 - 2 下請事業者を利用する場合にあっては、下請事業者の輸送の安全を阻害するような行為を行わない。更に、下請事業者と長期契約を結ぶ等の密接な関係にある場合は、可能な範囲において、下請事業者の輸送の安全の向上に協力するよう努める。

(輸送の安全に関する目標)

第五条 前条に掲げる方針に基づき、目標を策定する。

(輸送の安全に関する計画)

第六条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制

(社長等の責務)

第七条 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。

- 2 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、予算の確保、体制の構築等必要な措置を講じる。
- 3 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。
- 4 経営トップは、輸送の安全を確保するための業務の実施及び管理の状況が適切かどうかを常に確認し、必要な改善を行う。

(社内組織)

第八条 次に掲げる者を選任し、輸送の安全の確保について責任ある体制を構築し、輸送の安全を確保するための企業統治を適確に行う。

- 一. 安全統括管理者
- 二. 運行管理者
- 三. 整備管理者
- 四. その他必要な責任者

(安全統括管理者の選任及び解任)

第九条 取締役のうち、一般貨物自動車運送事業運輸規則（以下「運輸規則」という）に規定する要件を満たす者の中から安全統括管理者を選任する。

- 2 安全統括管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該管理者を解任する。
 - 一. 身体の故障その他のやむを得ない事由により職務を引き続き行うことが困難になったとき。
 - 二. 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(安全統括管理者の責務)

第十条 安全統括管理者は、次に掲げる責務を有する。

- 一. 全社員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。
- 二. 輸送の安全の確保に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。
- 三. 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。
- 四. 輸送の安全に関する報告連絡体制を構築し、社員に周知を図ること。
- 五. 輸送の安全の確保の状況について、定期的に、かつ必要に応じて、随時内部監査を行い経営トップに報告すること。
- 六. 経営トップ等に対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。
- 七. 運行管理が適正に行われるよう、運行管理者を統括管理すること。
- 八. 輸送の安全を確保するため、社員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- 九. その他の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理方法

(輸送の安全に関する重点施策の実施)

第十一条 輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく輸送の安全に関する計画に従い輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第十二条 経営トップと現場や運行管理者と運転者等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切に社内において伝達され、共有されるように努める。また、安全性を損なうような事態を発見した場合には看過したり、隠蔽したりせず直ちに関係者に伝え、適切な対処策を講じる。

(事故、災害等に関する報告連絡体制)

第十三条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害等に関する報告連絡体制は別に定めるところによる。

2 事故、災害等に関する報告が、安全統括管理者、経営トップ又は社内の必要な部局等に速やかに伝達されるように努める。

3 安全統括管理者は、社内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。

4 自動車事故報告規則（昭和二十六年運輸省令第百四号）に定める事故、災害等があった場合は、報告規則の規定に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は届出を行う。

(運輸の安全に関する教育及び研修)

第十四条 第五条の輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、着実に実施する。

(輸送の安全に関する内部監査)

第十五条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名する者を実施責任者として、安全マネジメントの実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上、適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。

また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を、改善すべき事項が認められた場合はその内容を、速やかに経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

(輸送の安全に関する業務の改善)

第十六条 安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全の確保のために必要と認める場合には、輸送の安全の確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に高度の安全の確保のための措置を講じる。

(情報の公開)

第十七条 輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、自動車事故報告規則に規定する統計、輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統については、定期的に外部に対し公表する。

2 事故発生後における再発防止策等、行政処分後に輸送の安全の確保のために講じた改善状況について国土交通省に報告した場合には、速やかに外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第十八条 本規程は、業務の実態に応じ、定期的に及び適時適切に見直しを行う。

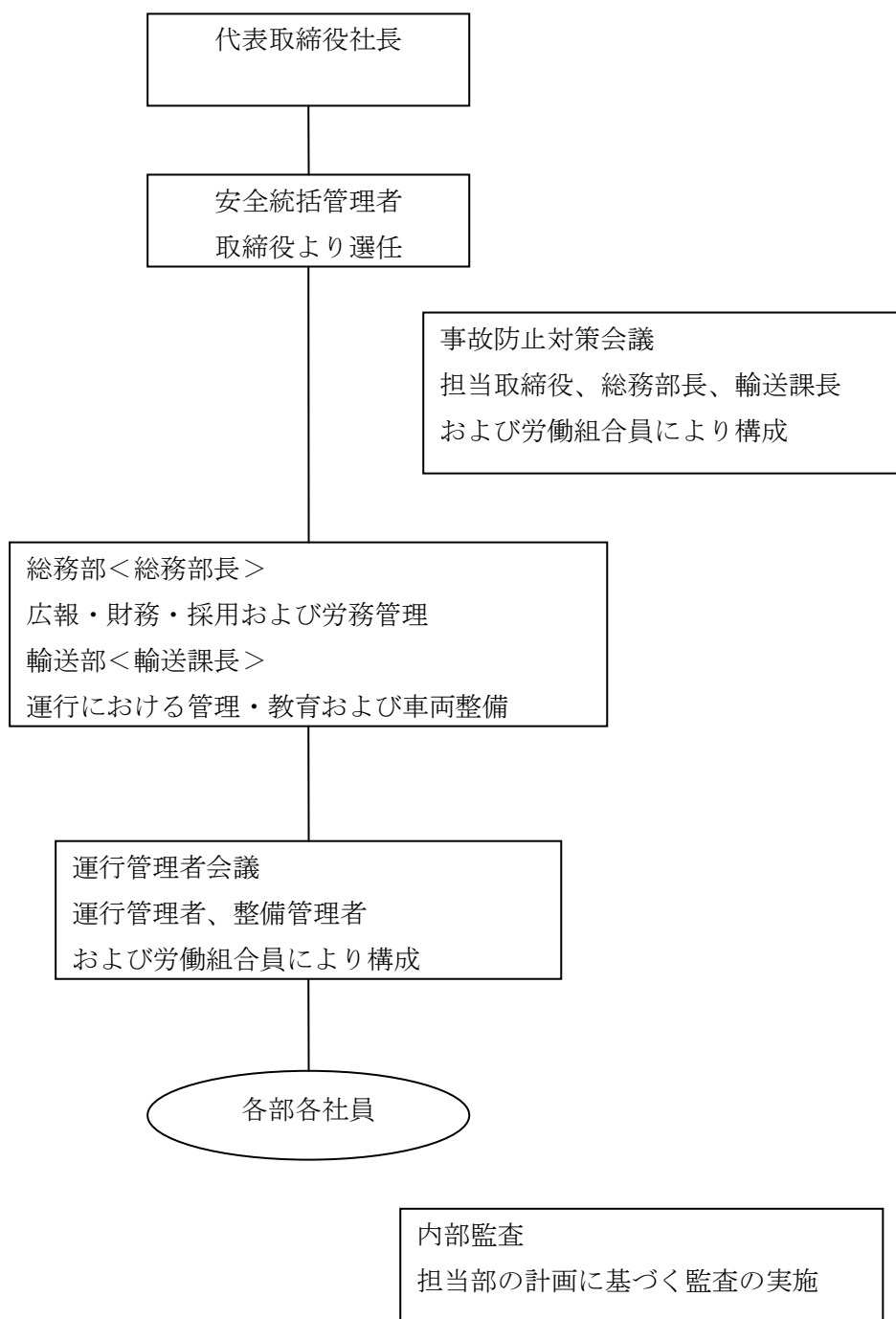
2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成にあたっての会議の議事録、報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、経営トップに報告した是正措置又は予防措置等を記録し、これを適切に保存する。

3 第二項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報に関する記録及び保存の方法は適切に行う。

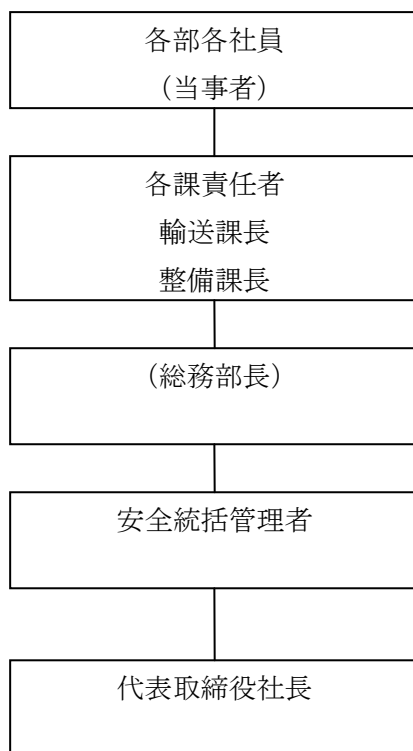
附則

第十九条 本規程は平成19年3月1日から実施する。

(別紙2) 『輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統』(2008年3月31日現在)



(別紙3)『事故、災害等に関する報告連絡体制』(2008年3月31日現在)



今後も「運輸の安全安心」に、役員・従業員が一丸となって取り組んで参ります。

当社の「安全」への取り組みに関しまして、ご意見・ご要望などがございましたら、ご連絡くださいませ。

【ご連絡先】

総務部 (054)346-2956

2017年度 運輸安全報告書

株式会社静岡トヨペットサービス

〒424-0067 静岡市清水区鳥坂118番地